

問1： この会場から最も近い日本百名城を答えなさい。

※日本百名城とは……財団法人日本城郭協会が2006年に定めた名城

(観光地としての知名度や文化財や歴史上の重要性、復元の正確性などを基準にして、歴史や建築の専門家などが審査の上で選定)

- A、大坂城 B、千早城 C、大阪城 D、二条城

問1

問2： 武将の出身地を現在の都道府県で入れなさい。

大阪府、京都府、奈良県 それぞれ1つずつ入ります。

- 柳生宗厳 ( ) 高山重友 ( ) 松永久秀 ( )

問3： 可児才蔵は「笹の才蔵」の異名を持っていますが、笹の葉をいったい何に使ったのでしょうか？

- A、非常食として茹でて食べた  
B、討ち取った敵の首に啜えさせて、目印とした  
C、自分の通った道にばら撒き、味方とはぐれないようにした  
D、足の裏につけ、走りやすくして、戦場での高速移動を可能にした

問3

問4： 血のつながった親子ではない組み合わせを選びなさい。

- A、浅井長政 --- 淀の方  
B、吉川元春 --- 吉川広家  
C、小早川隆景 --- 小早川秀秋  
D、本願寺蓮如 --- 本願寺実如

問4

問5： 史実で伝わっていない兜を被っている武将は？ ※イラストの兜は多少のアレンジをしています。

- A、豊臣秀吉 B、黒田長政 C、加藤清正 D、前田慶次



問5

問6： 豊臣秀吉が初めて城主となった城「長浜城」

この「長浜」という地名の由来となった戦国大名といえば？

- A、三好長慶 B、浅井長政 C、丹羽長秀 D、織田信長

問6

問7： 豊臣秀吉へ献上したものと、その送り主を結び付けなさい。

- ポルトガル人 長宗我部元親 毛利輝元 黒田官兵衛

- 季節外れの桃 姫路城 パンティ 鯨

問8： 合戦では、味方同士を判別するために合言葉をつくるが多かったが

戦国時代最後の戦いとなった「大坂の陣」での豊臣方の合言葉は「山」であった。

それに対して徳川方の合言葉は何としていたか？

- A、川 B、河 C、葵 D、旗

問8

問9： 現在でもスポーツの重大な試合や局面の比喩に「天下分け目の天王山」という言葉が残っていますが

これは戦国時代の「ある戦い」が由来になっています。下記から選びなさい。

- A、関ヶ原の戦い (徳川家康 VS 石田三成)  
B、山崎の戦い (羽柴秀吉 VS 明智光秀)  
C、天目山の戦い (織田信長 VS 武田勝頼)  
D、天王寺・岡山の戦い (徳川 VS 豊臣) ※大坂夏の陣の中の1つの戦い

問9

問10： 細川忠興が愛用したと伝わっている刀はどれでしょう？ 下記から選びなさい。

- A、へし切長谷部 (隠れた茶坊主を棚ごとへし切りにしたことから)  
B、につきり青江 (につきり笑う女の幽霊を切り捨てて、翌朝確認したら石塔が真つ二つになっていたという伝説による)  
C、歌仙・兼定 (この刀で家臣36人を斬った後、三十六歌仙にちなんで名付けられた)

問10

ヒント：この刀は……会場に展示されている「Ver.3.0 細川忠興」にも描かれているぞ！ 土基軽太先生が実際の拵(こしらえ)に近づけて描かれているので、一目瞭然！